

# 令和2年度 石巻市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和3年5月

石巻市（宮城県）

## ○計画期間:令和2年4月～令和7年3月(5年)

### I. 中心市街地全体に係る評価

#### 1. 令和2年度終了時点(令和3年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、令和2年3月に国の認定を受けた「石巻市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す中心市街地の都市像である「石巻らしさを活かし、市民の誇りと石巻に暮らすことの豊かさを醸成できるまち」の実現に向けて、東日本大震災からの復興事業で完成した施設の活用を図りつつ新たな投資活動と呼び込んでいくエリアマネジメントを進めることで、更なる活性化を目指している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、国や県から発出された外出自粛要請の影響により、区域内で予定していたイベントの開催が困難になる等の状況であったものの、5月に都市再生推進法人の指定を受けた(株)街づくりまんぼうによる堤防空間を活用したイベント開催や民間事業者による飲食営業などの取組みにより、川沿いエリアでは賑わいが創出された。

この川沿いエリアで創出された賑わいを立町・中央エリアや駅前エリアへどのように波及させるかが引き続きの課題となっている。

また、4月中旬には市役所1階の商業スペースに、日用雑貨や食品を取り扱う商業施設がオープンした。市役所に併設されたこともあり、多くの買い物客が訪れ新たな賑わいが創出された。

JR石巻駅前の市役所西隣には、地域包括ケアシステムを推進する中核的な拠点施設としての機能を持つ「石巻市ささえあいセンター(ほっとお〜る)」が5月下旬にオープンした。「医療・介護連携」「支え合う地域づくり」「包括的な相談支援」「子育て支援」「次世代育成」の5つの機能を持ち、子供から高齢者の交流の場所として多くの方々が利用され石巻駅周辺における交流人口の増加だけでなく、にぎわい創出の効果のある施設として、期待できる。

#### 【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

##### (1) 居住人口

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
人口	2,878	2,901				
人口増減数	6	23				

自然増減数	△42	△31				
社会増減数	50	54				
転入者数	69	80				

(2) 地価

地価公示（国土交通省）（基準日：令和3年1月1日）

地価基準（宮城県）（基準日：令和2年7月1日）

	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
鑄銭場 3-13	76,000	75,800				
立町 1-2-19	40,500	40,400				
穀町 3-15	75,000	75,000				
山下 1-8-11	36,700	36,300				
泉町 1-4-30	36,400	35,800				
日和が丘 1-22-33	39,500	38,700				

**2. 令和2年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

石巻商工会議所や㈱街づくりまんぼう、市が事務局となり、市民・事業者で構成する中心市街地活性化協議会において、新型コロナウイルス感染症対策による計画変更への意見の取りまとめ、中心市街地の活性化・賑わい創出事業に対して「中心市街地賑わい創出活性化助成金事業」を実施した。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から緊急事態宣言が発令され、人・モノの移動制限がかかる中、当市においても大型観光客船の来航の中止などによる観光客の減少、イベント等の賑わい創出事業が相次いで中止となったことから、交流人口が伸び悩み、計画通りに進めることができなかった。そのような中でも市役所1階には、日用雑貨や食品を取り扱う商業施設、市役所の隣に石巻市ささえあいセンター、石巻南浜津波復興祈念公園が完成した。これらの施設を有効に活用することで、今後中心市街地の活性化と交流人口の拡大に期待し取り組んでいく。

今後も新型コロナウイルスの影響は続くことが予想されることから、コロナ禍における中心市街地の活性化に向け、官民がより密接な連携を図りながら総合的かつ一体的に推進していきたい。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
定住人口の増加	中心市街地における定住人口	2,872 人 (H30)	3,006 人 (R6)	2,901 人 (R3.3)	B	—	①
交流人口の増加	2施設の利用者数	1,369,912 人 (H30)	1,469,603 人 (R6)	1,129,274 人 (R3)	C	—	①
交流人口の増加	歩行者・自転車通行量	17,790 人 (H30)	19,748 人 (R6)	14,835 人 (R2.10)	C	—	①
市民活動参加者数の増加	市民交流施設4施設の利用者数	153,429 人 (H30)	182,315 人 (R6)	115,885 人 (R3.3)	C	—	①

< 基準値からの改善状況 >

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

① 目標達成が見込まれる ② 目標達成が見込まれない

※ 関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ 1、2 とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### ① 「中心市街地における定住人口」について

目標値を下回っているものの、基準年（平成30年）以降は、微増傾向となっており、自然増減の影響が現れた結果となっているが、自然増減は中心市街地活性化の事業の効果とは異なることから、今後は進捗が遅れている優良建築物等整備事業の完了に伴い定住人口の増加が期待できるため、目標は達成できる状況にあると見込まれる。

#### ② 「2施設の利用者数」について

「いしのまき元気いちば」に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で県外からの観光客やツアーなどの団体客が大幅に減ったものの、観光客が減少したことを逆手にとり、ターゲットを「地域住民」へと転換したことによって、利用客数全体の大幅な減少を抑えることができた。

今後は、主要施設のみならず、中心市街地全体への賑わいの波及が課題となっており、回遊性の向上に資する取り組みが必要であるため、石ノ森萬画館の企画展と連携したスタンプラリーの開催など、今後も魅力あるイベント等の開催や情報発信を行い、目標の達成を目指していく。

「石ノ森萬画館」に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館、

外出要請、イベント等の中止により、利用者数が昨年度に比べ大幅に減少しており、石ノ森萬画館の利用者数が回復しない限り目標達成は難しい状況にあるが、新型コロナウイルス感染症の収束後は、観光客の客足が戻ることににより目標達成が見込まれる。

③ 「歩行者・自転車通行量（平日・休日）」について

令和2年度は、14,835人の通行量となり、基準値よりも2,955人の減少となり、目標値を大きく下回った。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大により来街者が減少したことに加え、計画に掲載した事業の遅延等もあり、効果が反映できなかったことが通行量の減少へと繋がったと推測できる。

今後は、令和3年3月に配信された「石巻市地方創生RPGアプリ キズナファンタジア海辺の国の大聖典」や「橋通り道路改良工事」の効果が見込まれることから目標達成は可能と思われる。

④ 「市民活動参加者増加」について

令和2年度の4施設の利用者数は、110,885人と新型コロナウイルス感染症の影響により基準値、目標値ともに下回る結果となった。今後も定員数の制限や感染状況を考慮することによってイベント等の中止が相次いだ場合は、目標達成が難しい状況となっているが、新型コロナウイルス感染症の収束後は、目標達成が見込まれる。

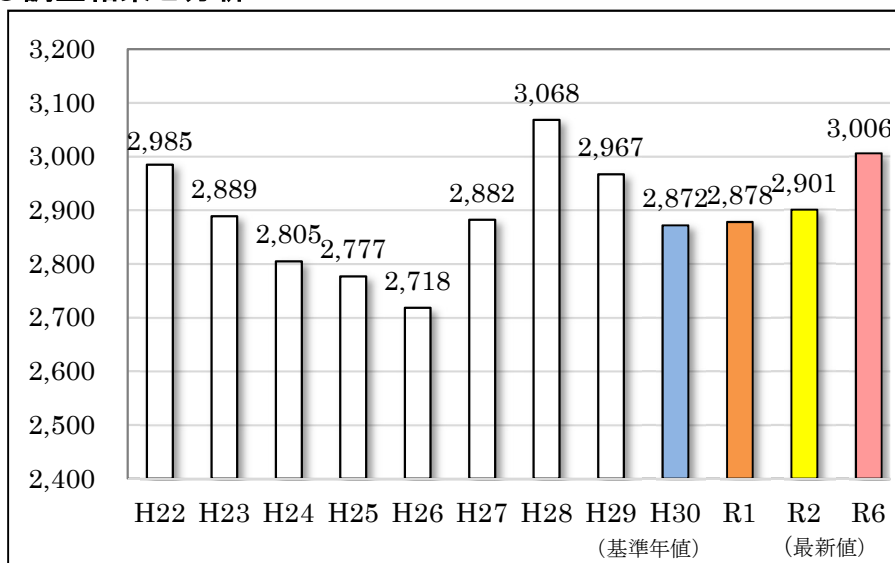
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) [中心市街地における定住人口] ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 68~P. 69 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H30	2,872 (基準年値)
R1	2,878
R2	2,901
R6	3,006 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数（中央一丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中瀬、立町一丁目、立町二丁目、住吉町一丁目、千石町、鑄銭場、穀町、日和が丘一丁目）

#### 〈分析内容〉

中心市街地における定住人口の増加に向けた各事業においては、概ね順調に進んでおり、目標値においては、下回っているが基準値は上回った結果となった。

また、石巻市全体においては、人口減少が加速化しているが、中心市街地においては人口が増加傾向にあり、第2期基本計画の「優良建築物等整備事業」の影響も現在において人口増加に反映してきていると思われる。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①優良建築物等整備事業（中央二丁目3番地区（A1地区））

事業実施期間	平成29年度～令和3年度【実施中】 [認定基本計画：平成29年度～令和2年度]
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国交省）（令和2年度） [認定基本計画：復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国交省）（令和2年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 12戸 [最新値] 7戸（分譲住宅6戸、地権者住宅1戸） [進捗状況] 事業計画の見直しにより分譲住宅を6戸、地権者住宅を1戸とし令和2年4月に工事着手。工事進捗に若干の遅れが生じたものの順調に推移。
事業の今後について	令和3年夏頃までには竣工する予定。年度内に補助事業としての完了検査も終え事業完了する見込み。

#### ①優良建築物等整備事業（立町一丁目3番地区（B地区））

事業実施期間	平成29年度～令和3年度【実施中】 [認定基本計画：平成29年度～令和2年度]
事業概要	高齢者の居住環境整備とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及びサービス付高齢者向け住宅、社会福祉施

	設、保育施設等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国交省）（令和2年度） [認定基本計画：復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国交省）（令和2年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 70戸 [最新値] 60戸（サービス付き高齢者向け住宅） [進捗状況] 事業計画の見直しによりサービス付き高齢者向け住宅を60戸に変更。 補償、建物解体の着手に向け協議中。
事業の今後について	資金計画上の問題から事業計画の見直し中。 事業計画の見直しと並行して権利者との補償協議、建物解体に向けたスケジュール等について協議中。

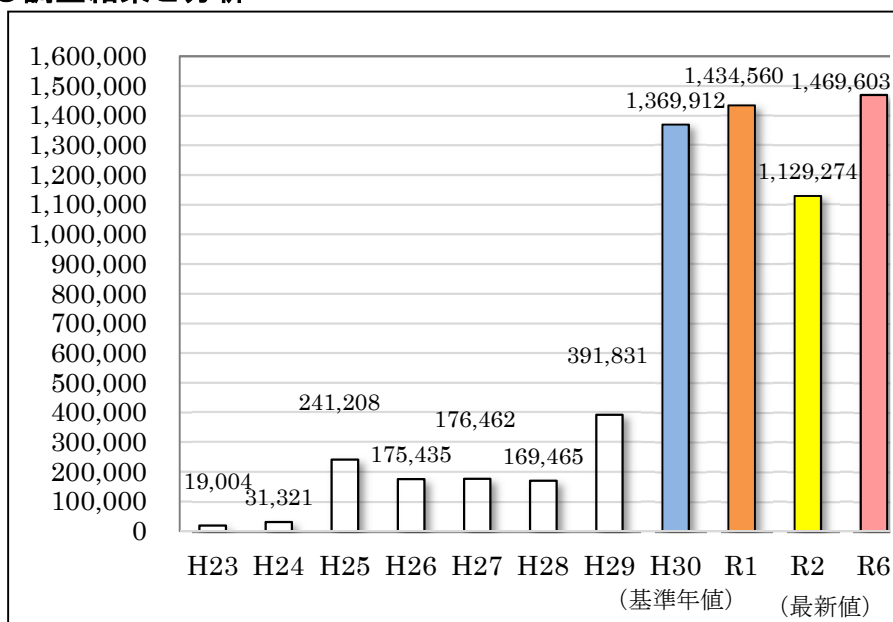
●目標達成の見通し及び今後の対策

「優良建築物等整備事業」においては、若干の遅れが見られたものの、概ね順調に進んでいる。立町二丁目4地区においては、事業計画の実施見直しを行っているが、令和3年度中には完了する予定である。

今後の対策としては、定住人口の増加に大きく寄与する事業であることから、事業計画の早期見直しや権利者との補償協議等のスケジュールを早急に協議し、事業着手に向け引き続き推進する。

(2) 「2施設の利用者数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70～P. 72 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H30	1,369,912 (基準年値)
R1	1,434,560
R2	1,129,274
R6	1,469,603 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度12月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：石ノ森萬画館入場者数、いしのまき元気いちば利用者数

〈分析内容〉

石ノ森萬画館については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、3月3日から5月31日まで臨時休館となった。6月1日から再開するも企画展示の変更、集客性の高いイベントの中止や縮小開催となったことから利用者の動きは鈍くなり、減少に繋がった。

いしのまき元気いちばについても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「観光客」や「ツアー団体」が減少したことに伴い、石巻の旬の食材に特化した企画を毎週開催するなど、地元民をターゲットとしたイベント内容に変更したことにより、地元民の増加に繋がり、大きな減少には至らなかったと思われる。

① 石ノ森萬画館実施事業（市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 218,917人 [最新値] 70,179人 目標未達成 [進捗状況] 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光客が激減したため、前年の3割程度の入れ込み数となった。感染症対策に留意しながら入れ込み数の回復に努めている。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、入れ込み数が戻らない状況だが、マンガや地域文化の発信・交流拠点として、引き続き感染症対策を行い、新しい生活様式に対応しながら中心市街地の賑わいを創出する事業を模索していく。

② かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（市）

事業実施期間	平成25年度～令和2年度
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する
国の支援措置名及び支援期間	[支援措置] ① 復興交付金（被災市街地復興土地区画整理事業・基幹事業、効果促進事業）（国土交通省） ② 復興交付金（暮らし・にぎわい再生事業（中央地区）・基幹事業、効果促進事業）（国土交通省）

	[支援期間] ① 平成26年度～令和3年度 [認定基本計画：令和2年度] ② 平成26年度～平成29年度 [認定基本計画：令和2年度]
事業目標値・最新値 及び進捗状況	[目標値] 1,250,686人 [最新値] 1,059,095人 目標未達成  いしのまき元気いちば北側に令和2年度中に整備される予定であった広場については、令和3年度も継続。
事業の今後について	いしのまき元気いちば北側に令和2年度中に整備される広場や、河川堤防上の空間を含めた川沿いエリア全体のエリアマネジメントにより、更なる賑わいが期待される。

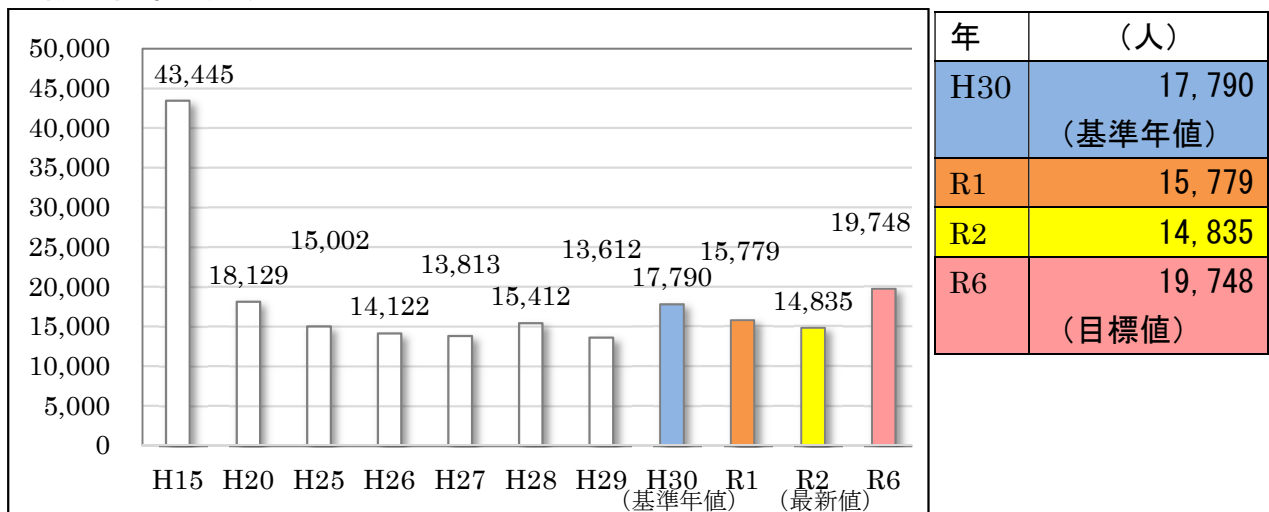
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

石ノ森萬画館については、令和2年3月～5月に発令された緊急事態宣言により人出が大幅に減り、観光需要が厳しい状況となっている一方でいしのまき元気いちばについては、緊急事態宣言解除後の6月からは、ターゲットを地域住民に切り替えたことにより、徐々に利用者が戻り、前年同月以上の利用者数があった月もあったことから、目標達成は可能だと考える。

今後の対策としては、観光客が安心して観光できる環境だけでなく、主要事業の推進とともに中心市街地の賑わい創出を図り、計画の最終年度までに目標を達成する。

### (3)「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P.73～P.76 参照

#### ●調査結果と分析

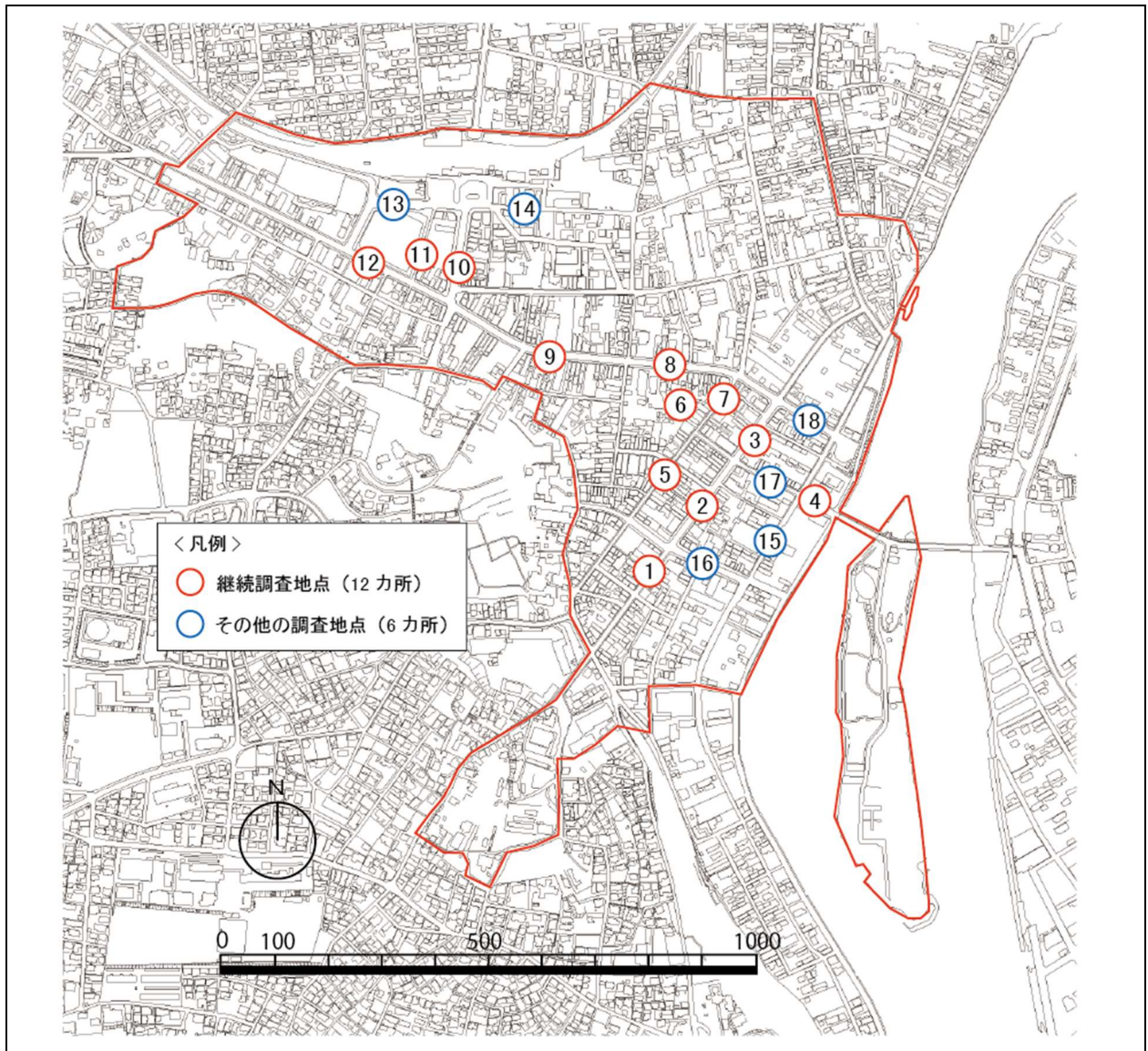




3月、平成27年11月、平成28年5月、平成29年11月、平成30年10月、令和元年10月、令和2年10月

※調査主体：石巻市

※調査対象：平日・休日の中心市街地内12地点（①中央一大通り、②アイトピア大町、③アイトピア中央銀座、④橋通り、⑤寿町みなみどおり、⑥ことぶき町ポケットパーク、⑦ことぶき町、⑧立町大通り東側、⑨立町大通り西側、⑩駅前大通り、⑪市役所おまさか通り、⑫穀町大通り）における歩行者と自転車通行量の合算値。



(単位：人)

	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
地点①	666	804				
地点②	942	1,058				
地点③	1,431	1,235				
地点④	1,638	1,725				

地点⑤	760	678			
地点⑥	602	556			
地点⑦	1,264	1,182			
地点⑧	1,894	1,997			
地点⑨	2,071	2,246			
地点⑩	2,031	1,493			
地点⑪	1,004	420			
地点⑫	1,476	1,441			
合計	15,779	14,835			

### 〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量に効果のある各事業に関しては、概ね順調に進んでいる。地点①（中央一大通り）、地点②（アイトピア大町）地点⑧（立町大通り東側）地点⑨（立町大通り西側）においては、昨年度より増加傾向にある。地点①については、休日に指定されたスポットを自転車で迎える「ライドハンターズ in 石巻」が実施されたこともあり、若干増加した。地点⑧と地点⑨は、石巻市唯一の法人格を持つ、立町大通り振興組合の商店街が並んでおり、商店街へ利用が多かったことが読み取れる。

また、地点④（橋通り）に関しては、石ノ森萬画館において「CAT ART展～シュー・ヤマモトの世界～」のイベント期間中であったことから、いしのみき元気いちばやかわまち交流センターの利用者が堤防へと流れたことの影響を受け、通行量が増加した。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ① 石ノ森萬画館実施事業（市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのみき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 261人の増加 [最新値] 測定不能 [進捗状況] 本施設利用者が歩行者・自転車通行量調査の結果へ与えた影響の実数は測定不能だが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全体の通行量が減少した中でも、④地点が増加しているのは、当事業の効果によるものと考えられる。
事業の今後について	従来型のイベント実施が難しい状況であるが、石ノ森萬画館で行われるイベントの実施と併せ、街歩きを促進するゲー

	ムアプリ「石巻市地方創生RPGアプリ キズナファンタジア海辺の国の大聖典」も活用しながら、感染症対策に留意しつつ、中心市街地に賑わいを戻すよう努めていく。
--	---

## ② かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（市）

事業実施期間	平成25年度～令和2年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する
国の支援措置名及び支援期間	<p>[支援措置]</p> <p>復興交付金（被災市街地復興土地区画整理事業・基幹事業、効果促進事業）（国土交通省）</p> <p>復興交付金（暮らし・にぎわい再生事業（中央地区）・基幹事業、効果促進事業）（国土交通省）</p> <p>[支援期間]</p> <p>① 平成26年度～令和3年度 [認定基本計画：令和2年度]</p> <p>② 平成26年度～平成29年度 [認定基本計画：令和2年度]</p>
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>[目標値]</p> <p>734人の増加</p> <p>[最新値]</p> <p>測定不能</p> <p>[進捗状況]</p> <p>本施設利用者が歩行者・自転車通行量調査の結果へ与えた影響の実数は測定不能だが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全体の通行量が減少した中でも④地点が増加しているのは、当事業の効果によるものと考えられる。</p> <p>生鮮マーケット「いしのまき元気いちば」に最も近い調査地点では、平日休日の通行量の合計値が1,956人と昨年の5,415人に対し3割程度減少となった。</p>
事業の今後について	事業が遅れているいしのまき元気いちば北側に令和3年度中に整備される広場や、河川堤防上の空間を含めた川沿いエリア全体のエリアマネジメントにより、更なる賑わいが期待される。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

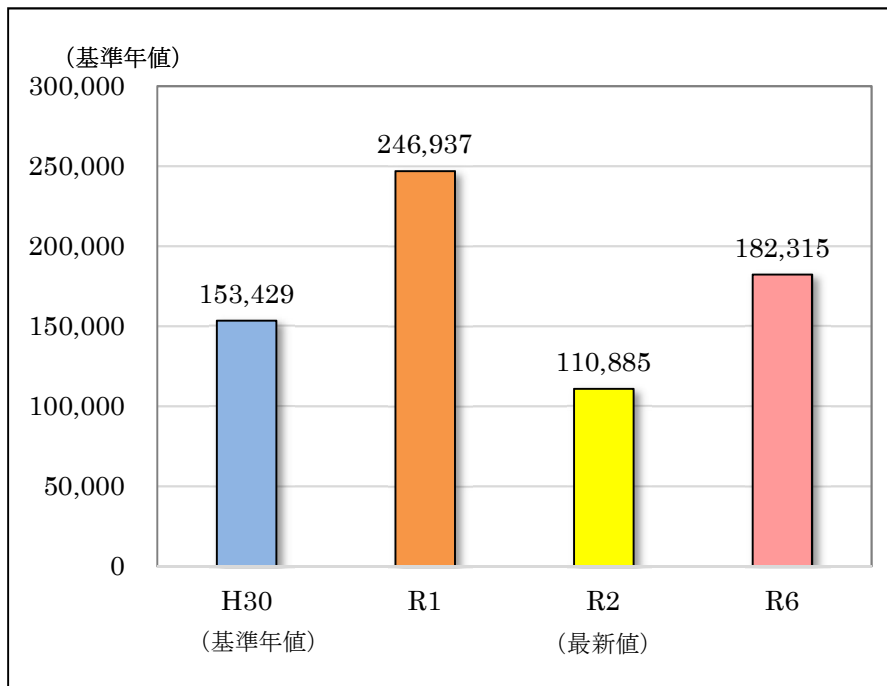
令和2年度の歩行者・自転車通行量については、14,835人と基準値、前年値と減少傾向にあり、前年度と比較すると944人減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きな要因と考えられることから、収束後は、反動で主要事業である2施設

の利用者が増加することが予想されることから、目標達成は可能と思われる。

今後の対策としては、いしのまき元気いちば北側に整備を進めている広場の完成による誘客効果や「地方創生RPGによる地域賑わい創出事業」において、街歩きを促進するRPGアプリが令和3年3月31日に配信され、GPS通信を用いて、観光施設や飲食店等と連携し、地域の消費拡大や回遊率の向上を図ることで、目標達成が見込まれる。

#### (4)「市民交流施設4施設の利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.78~P.79 参照

##### ●調査結果と分析



年	(人)
H30	153,429 (基準年値)
R1	246,937
R2	110,885
R6	182,315 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度3月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：石巻あいプラザの利用者数、旧観慶丸商店の利用者数、かわまち交流センターの利用者数、アイトピアホールの利用者数

##### 〈分析内容〉

令和2年度は、全体的に大きく減少をしており、何れも室内の施設ということで、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく表れた結果となった。

「石巻あいプラザ」については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことだけでなく、感染対策として講座の定員数等に制限を設けたこと等が要因となり、利用者が減少している。

「旧観慶丸商店」については、緊急事態宣言にかかる休館や企画事業中止による影響だけでなく、施設を利用する団体も減少したことが大きな要因となっている。

「かわまち交流センター」については、休館による影響は、若干あったもののその後、徐々に利用者が戻りつつあったが、新型コロナウイルスの感染者が市内で増加し始めた時期に再び減少をみせた。指定管理者である一般社団法人石巻観光協会が例年3回程度大きなイベントを行って

いるが、1回のみ開催となったことも減少の要因となっている。

「アイトピアホール」についても「旧観慶丸商店」と同様に新型コロナウイルスの影響によるプログラムの中止や利用人数を設けたことにより減少がみられた。

① 石巻健康センター あいプラザ・石巻活用事業

事業実施期間	平成21年度～【実施中】
事業概要	健康・福祉の拠点施設として各種講座の展開や、プールやジム等の施設提供を行うことで、地域住民の健康づくりを推進する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値]平成30年度 96,189人 [最新値] 令和2年度 55,187人 [進捗状況] 本施設利用者との意見交換会やSNSを活用した広報を実施し、本施設利用者の増加に繋がる取組みを行った。 新型コロナウイルス感染拡大により利用者は減少したが、収束後に受講再開を希望する声が多くあり、徐々に回復していくものと思われる。
事業の今後について	【留意事項】 地域との連携により一層力を入れ、地域住民にとって本施設がコミュニティー活動の場となるよう、様々なイベントや講座を実施し、集客及び賑わいの創出を図る。

②旧観慶丸商店保存活用事業

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	市指定文化財である歴史的建造物の保存を図りつつ、中心市街地における歴史・芸術・文化発信拠点として、拠点となる施設の運営及びイベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値]11,714人(平成30年度) [最新値]令和2年度 4,787人 [進捗状況] 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、臨時休館や企画事業中止となり、また、施設を利用する団体も減少し、目標値の約4割程度となった。
事業の今後について	展示企画やイベントなど、新型コロナウイルス感染症影響の状況を鑑みながら実施していくとともに、感染症対策や環境整備等を行い、利用者が利用しやすい施設を目指していく。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

第2期基本計画より継続して掲載している事業については、概ね順調に進み令和元年度には基準値及び目標値を超え、今後も利用者数は増加する見込みであった。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休館や定員の制限等が余儀なくされたこと、利用者の自粛等も相まって減少したと思われるが、目標達成は可能であると見込まれる。

今後の対策としては、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、安心・安全にイベントや交流人口の更なる増加に向け、市民活動の促進の取り組みだけでなく、各施設の活用や周知、他施設との連携を更に強化し、今後も各施設が中心市街地の新たな魅力として発信していく。